

目標達成計画

作成日：平成 27年 1月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	全体的に利用者様の重度化が進み、どうしても屋内での生活中心となってしまっている。職員も、戸外へ出ることへの事故のリスクを考え、外出に消極的になってしまっており、地域の皆様との交流も日常的とは言えない。	付近を散歩したりドライブに出かけ、戸外へ出かける機会を増やしていく。	職員の意識改革をできるように、リスクに対する研修などを行う。地域のボランティアなどを利用し、転倒の危険など、利用者様と職員の不安を軽減できるようにする。	12ヶ月
2	6	身体拘束をしないケアについての学びが足りず、全ての職員が具体的な行為について、正しく理解できていない。	利用者様に関わる全ての職員が具体的な行為について正しく理解し対応出来る様にする。	身体拘束にあたる具体的な行為について、研修を重ね、職員間でもお互いに注意できるような関係づくりをする。	12ヶ月
3	35	夜間は、各フロアに職員が1名で対応しており、夜間の災害時の避難誘導などの対応に不安がある。	対応の手順を理解し、冷静な判断のもとに行動出来るようにする。	夜勤者だけでなく、全職員が具体的にイメージできるように、夜間を想定した訓練を行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。